

8月18日は 大火記念日

(火の用心)

8月18日は大館市大火の8週年にあたり
ます。当日午後11時45分頃、東大館駅前
の一角より発した火は、6時間ほどもえ
つづけ、住家、非住家合せて、1,369棟
が焼失し、770世帯、4,252人が焼けだ
され、損害額40億円の被害をうける大
火となり、市の中心街の大半を焼土と化
した恐るべき日だったのです。市内には
まだまだ大火を包蔵した地域もあり、
「大火の街、大館」の汚名を返上するた
め、市の消防署では8月18日、各種の予
防行事を実施しますが、市民の皆様もあ
の日を思い起し、ふたたび、あのような
悲惨事をくりかえさないよう日常の「火
の元」に十分注意し、火災のない明かる
い大館市建設のため火災予防にご協力く
ださい。

(写真は大火のよく日、南町から見た
大町方面の焼あと)



◎ 台風はかならずやってくる ◎

..... その 対 策

8月から9月にかけては台風季節です
「天災は忘れたころにやってくる」とは
科学者寺田寅彦のいつたことですが、こ
のころでは忘れずにやってくるようです

台風は北西アジア大陸の防波堤の役目
をはたしている日本列島の宿命ともいえ
るでしょう。

わが国では、風速17メートル以上のもの
を台風と呼んでいます。また1秒間に
25メートル以上の風が吹いている範囲を
暴風圏としています。この25メートルの
風速は、平均メートル当り62キロの圧力
がかかるといわれます。

いわば米だわらを1俵、雨戸にぶつ
けたほどの力です。これがまともにやつ
てくるのですから家や立木、その他に多
くの被害がでるわけです。そればかりで

なく、こう水、地すべり、がけくずれな
どの被害をとまいます。

この台風シーズンにまず心得ておきた
いことは、

- ①新聞、ラジオ、テレビの台風予報に注
意する。
- ②保存食糧の確保、玉ねぎ、ジャガイモ
ハム、インスタント食品、カンヅメ、
ビスケット、生やさいなどを用意する
- ③ガラス戸などがタつくところに、古ハ
ガキ、新聞紙などをはさんでおくこと
場合によっては、家に支柱を立てる。
- ④懐中電灯、ローソクを用意する。
- ⑤出水にそなえて避難場所をきめておく
その他万全の処置を日ごろから考えて
おくことがたいせつです。

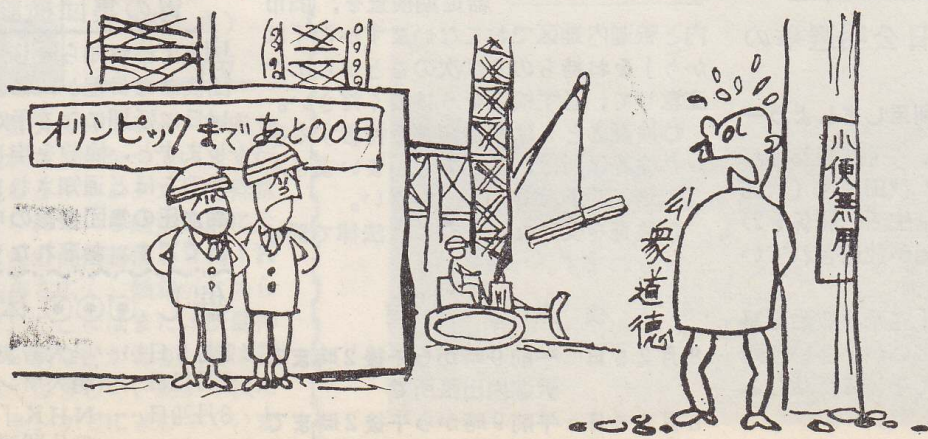
ゴキブリを退治しましょう

ゴキブリは俗に「アブラムシ」ともい
われる昆虫で、その種類は7種類ほどあ
るといわれます。

ゴキブリは、部屋の各所を汚し、伝染
病の媒介をするいわばカやハエと同じよ
うな害虫でありますので徹底的に駆除を
する必要があります。

ゴキブリはまた、あたたかい場所にむ
れをなしてすみつき、夜に活動をおこす
性質があるので、この駆除をおこなうに
は、かくれ場所をていねいにさがして、
「巣」のあり場所を知ることが第1です
その巣を見つけたら、巣の周囲や、ゴ
キブリがあるきまわる個所に残効性のある
殺虫剤を濃いめに散布または、塗布す
るのが最も良いとされています。現在も
ちいている薬剤ではクデルトリンクがも
つとも効果的であるといわれています。

工事の方は間に合うが
あつちの方が間に合うか
どうか



オリンピックまで
あと000日